



一人一人と向き合っ

全校生徒12名の小規模校で、けがや体調不良を訴えて保健室に来る生徒は少ない状況です。保健室で生徒と直接向き合う仕事がほとんどないことに最初は戸惑いもありました。しかし、人数が少ないからこそ生徒一人一人と向き合うことができると、今は思っています。

毎朝、生徒が登校したときに全員の顔を見て挨拶し、小さな変化にも気付けるようにしたり、休み時間に自ら教室に行き、積極的に生徒とコミュニケーションをとったりしています。また、生徒全員がカウンセラーと話す機会を設け、相談しやすい環境づくりにも努めています。その中で、生徒たちの健康課題が見えてきました。今後は、それらの課題克服に向けた取組を先生方と協力し、生徒に合った方法で取り組んでいきたいと思ひます。

平成28年度採用 天川村立天川中学校

養護教諭 鷲根 美貴子



児童と一緒に

4月から4年生を担当しています。どの児童も元気いっぱい個性豊かです。児童が楽しい学校生活を送るために、担任として何ができるのか、毎日が勉強です。授業や学校行事、学級活動などの場で、児童と真剣に向き合うことが自分の成長につながると考えています。

運動会の表現の練習時、私は児童が安心して練習できるようにするにはどうすればよいか悩みました。また、振り付けがよく見える様に、隊形変化の度に立ち位置を考えました。運動会当日、素晴らしい演技をした児童の喜びに満ち溢れた表情を見て一緒に頑張ったという達成感が共有できました。

今後も目標に向かって児童と共に取り組み、集団として成長できる感動を分かち合える教員を目指したいです。

平成28年度採用 大和郡山市立矢田小学校

教諭 井上 雄一



教員であるために、 努力し続ける

教員として教壇に初めて立った頃は、とても不安で、日々の授業一つ一つに必死でした。きちんと準備をしたつもりでも、うまくいかず悩むことも多く、振り返れば空回りの連続でした。また、生徒との関わりの中でも、最初はよい関係が築けず思いが伝わらないこともありました。そのような状況の中、生徒の明るい笑顔や職場の先輩方の助言に支えられ、教員という仕事に全力で向き合うことができたと感じています。

悩みや苦労も多いですが、生徒の「分かった」という声は、私に元気とやる気を与えてくれます。「失敗は成功のもと」ということわざがありますが、失敗から学び、成功につなげることができる環境に感謝をしながら生徒と共に成長していきたいと思ひます。

平成28年度採用 奈良市立京西中学校

教諭 上田 翔子



一人一人の実態に応じた 指導を心がけて

4月、「一人一人の実態に応じた指導をしたい」という希望を胸に、私の教員生活は始まりました。勤務初日は緊張と不安でいっぱいでしたが、周りの先生方と生徒のおかげで、日に日に生徒との距離を縮めることができるようになりました。生徒との距離が近くなると「こんなことが得意なんだ」「こんなことは苦手なんだ」ということが分かるようになり、授業にも生かせるようになったと思ひます。しかし、「こんな時は、どんな支援をすればよいか・・・」と悩むことの方がまだまだ多くあります。これからも、一人一人の特性を理解し、私の目標である「実態に応じた指導」ができるよう、日々努力をしたいと思ひています。

平成28年度採用 奈良県立奈良東養護学校

教諭 森永 彩未